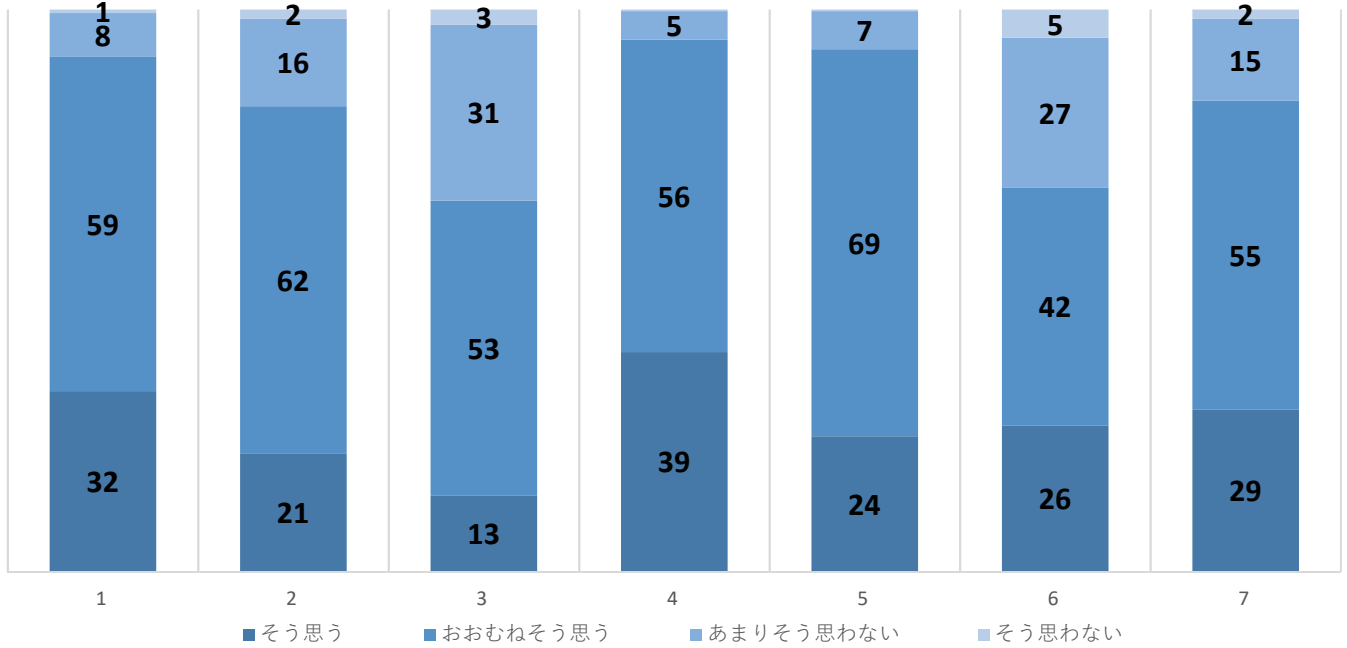


## 令和3年度学校評価について

### R3年度 保護者アンケート



1 学習準備を整え学習規律を守って勉強をしている。

2 進んで学習に取り組む、自分の考えをもつことができている。

3 友達や先生、地域の方たちに自分から進んで挨拶できている。

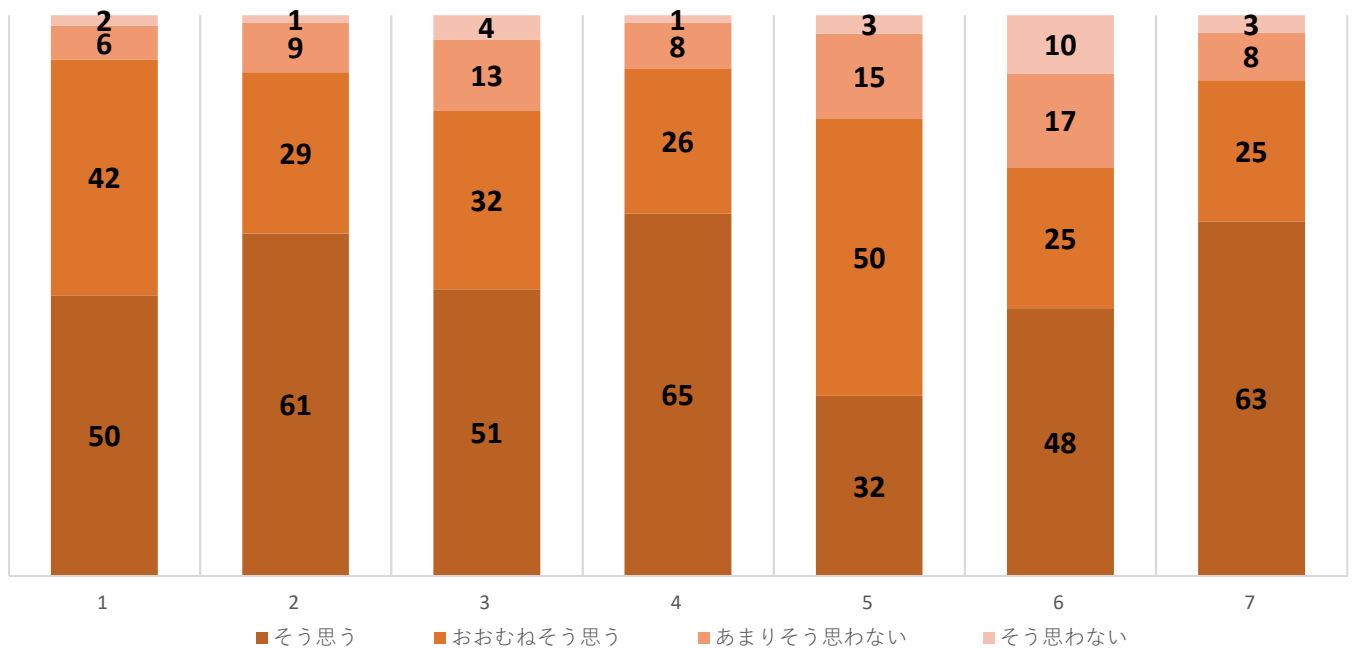
4 友達と仲良く過ごし、安心して学校生活を送っている。

5 マナーやモラル、ルールを守って行動することができている。

6 学校生活や放課後、休日を含め、進んで体を動かしている。

7 ボランティアや地域の皆さんの力を活かした学習をしている。

### R3年度 児童アンケート



1 学習準備を整え、学習ルールを守って勉強できましたか。

2 進んで学習に取り組む、ノートに書いたり、タブレットを使ったりして、自分の考えをもつことができましたか。

3 先生や友達、地域の方に自分から進んであいさつできましたか。

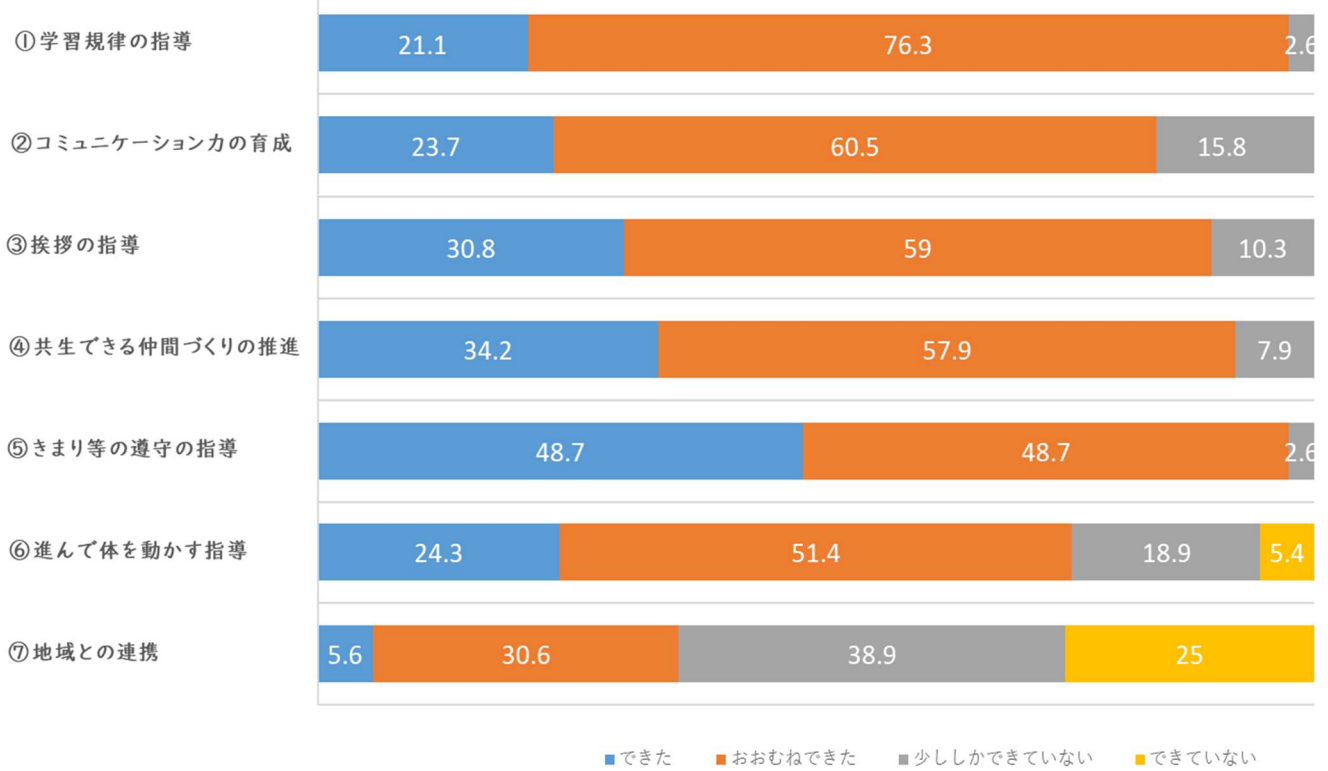
4 みんなから大切にされ、安心して学校生活を送ることができましたか。

5 廊下を走らないなど学校のルールを守ったり、ていねいな言葉をつかうなどマナーを守ったりできましたか。

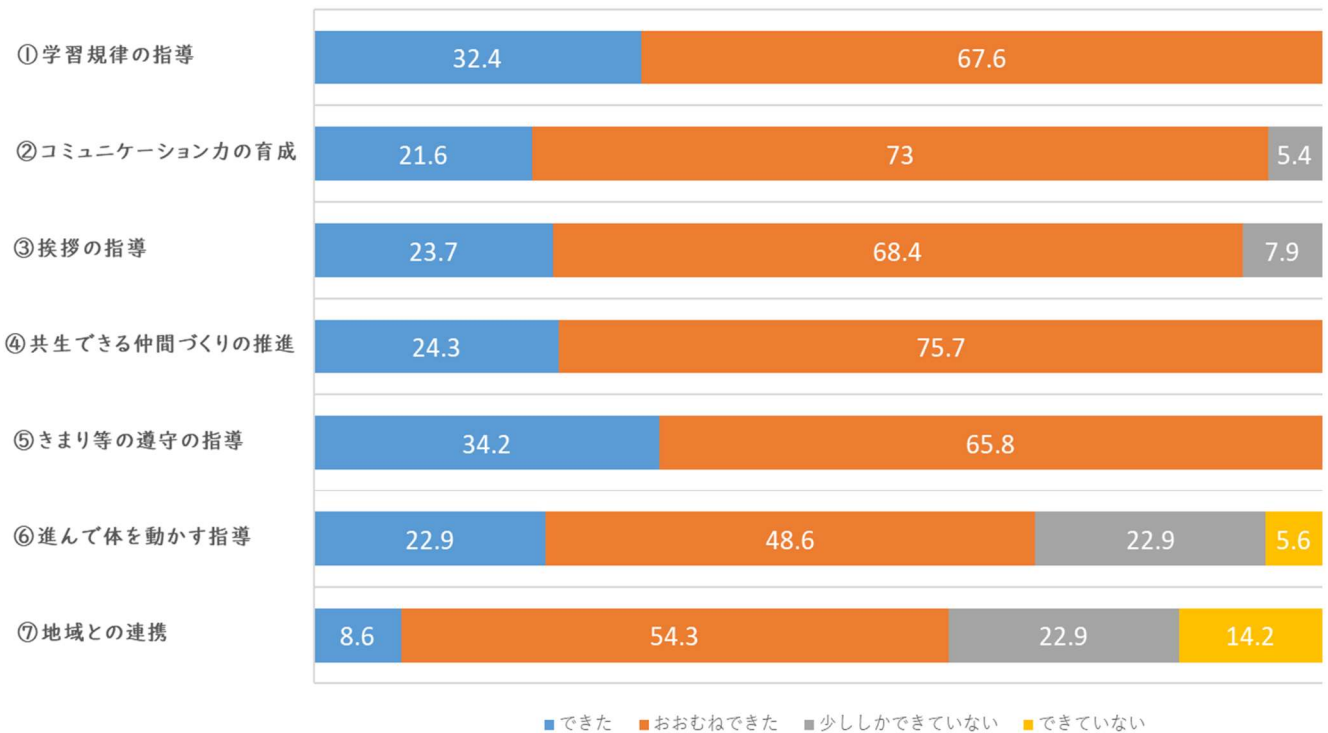
6 朝や20分休み、昼休みは、運動場に出て、元気に遊んでいますか。

7 地域の方に教えてもらったり、一緒に活動したりして、しっかり学習できましたか。

### R3中間期教職員自己評価



### R3後期教職員自己評価



昨年12月に実施しました「学校評価アンケート」について、集計結果及び考察について、児童アンケート、教職員自己評価とともに示させていただきます。

アンケートの中で保護者の皆様の評価は、7項目中5項目で「そう思う」「おおむねそう思う」と回答いただいた割合が80%以上と高く、肯定的なご意見が多かったです。しかしながら、80%に到達していない項目が2項目あり、まだまだしっかり取り組まなければならないと感じています。

「学習規律」に関する項目については、教職員もしっかりと指導を行っており、保護者や児童の意識も90%以上と高い評価になっています。これは、授業中、校舎を回っていても、子どもたちが落ち着いて学習をしている裏付けとなります。また、生駒市教育委員会や生駒小学校学校運営協議会委員の方などの来校者からも「落ち着いて学習していますね。」と感想をいただいています。

「自分の考えをもつ、コミュニケーション力」については、教職員の方では前期よりも指導の意識を高く持ち取り組むことができました。保護者からも83%と高評価をいただいております。また子ども自身も90%と高い評価となっています。しかし、教職員では、まだまだ自分の考えをもつ児童が多いとは言えないと感じており、来年度は国語科「書くこと」を中心として指導に当たっていきたいと考えています。

「あいさつ」の項目に関して、教職員は前期よりもしっかりと指導し、進んで挨拶していると評価している児童も83%に上ります。しかし、保護者の評価は70%を切っており、保護者の評価とのギャップがあります。また、地域の方からも「子どもがよく挨拶するようになりましたね。」というご意見もあれば、「子どもは挨拶しませんね。」というご意見もあり、地域での挨拶が徹底されていない様子が分かります。これらを見ますと、学校全体での取組の推進によって、子どもたちの意識が変わっているものの、保護者の皆様や地域の方では自分たちがイメージするような子どもからの挨拶が十分行えているとは言えず、このような結果になったのではないかと考えられます。生駒小学校の子どもたちは、明るく元気に挨拶する子どもたちが多いように感じています。さらに多くの子どもたちが、毎日気持ちよく挨拶できるようになるためには、学校だけで指導していても効果が上がるものではありません。ご家庭でもご指導いただき、地域でもお声掛けしていただく、この三者が連携することで子どもたちの成長が望めると思います。ご協力よろしくお願いします。

「仲良く、安心して学校生活を送っている」「きまり等の順守」の項目に関しては、教職員全員が取り組んでおり、生徒指導上の問題も迅速に指導にあたっています。保護者や児童からの評価も、ほぼ90%以上と高い評価です。しかし、教職員では、廊下歩行についてまだまだ指導しなければならないと感じており、来年度に向けての課題です。

「進んで体を動かす」の項目に関しては、教職員も十分に指導できておらず、保護者や児童の評価においても70%前後と低い評価になっています。新型コロナウイルス感染症の影響もあるかと思いますが、体力テストの結果においても、本年度の課題であった50m走の記録は伸びているものの、ボール投げ、長座体前屈においては、依然として県平均を下回っている結果です。体力

向上を図るため、その方策について学校でも検討しているところです。

「地域との連携」の項目に関しては、教職員の方では感染症対策を施しながら何とか実施してきました。その成果があったからでしょうか、保護者や児童の評価も85%前後と高い評価になっています。来年度はどのような状況になるか先行き不透明ですが、子どもたちの成長、地域の方との関わり、生駒を愛する子どもの育成のためにも、感染症対策を講じながらゲストティーチャーをお迎えし、体験学習を重ねていきたいと思えます。また、学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）、地域学校協働活動がより活性化し、子どもたちの成長に関わっていただけることを計画していきたいと思えます。

今回、保護者からの意見で、コロナ禍でありながら、工夫して行事を行ったことについてのお言葉が多数ありました。学校教育を止めないためにも、考えを止めず、感染症対策を取りながら、今後も教育活動を進めていきたいと思えます。

以上、簡単ではありますが学校評価についての考察とさせていただきます。今後とも、生駒小学校の「目指す児童像」に向けて取り組んでいきたいと思えます。

貴重なご意見、ありがとうございました。